

## 【令和4年度農村振興関係交付金評価委員会の議事概要】

### ○第1回評価委員会

1. 日 時: 令和4年8月4日(木) 10:30~11:00
2. 場 所: 認定特定非営利活動法人つどい(あいのたにロータスステーション)(滋賀県長浜市)
3. 出席者:
  - ・評価委員会委員
    - 松下秀介 京都大学大学院農学研究科教授
    - 丸山政行 鹿児島国際大学大学院経済学研究科教授
    - 加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師
  - ・評価委員会事務局 近畿農政局担当者5名
4. 議事要旨
  - 1) 令和3年度近畿農政局農村振興関係交付金の評価について  
令和3年度近畿農政局農村振興関係交付金評価対象地域、評価基準等を確認。
  - 2) 委員長の選任  
評価委員会設置規程第5条に基づき、委員の互選の結果、委員長に松下委員が選任された。
  - 3) 今後の予定について  
第2回評価委員会(現地調査)、第3回評価委員会(意見聴取)を行い、その後、評価の概要等をホームページにて公表することを確認。

### ○第2回評価委員会(現地調査)

1. 認定特定非営利活動法人つどい(あいのたにロータスステーション)(滋賀県長浜市)
  - 1) 日 時: 令和4年8月4日(木) 11:00~12:30
  - 2) 場 所: あいのたにロータスステーション
  - 3) 出席者:
    - ・評価委員会委員
      - 松下秀介 京都大学大学院農学研究科教授
      - 丸山政行 鹿児島国際大学大学院経済学研究科教授
      - 加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師
    - ・事業実施主体  
認定特定非営利活動法人つどい 担当者(事務局等)
    - ・評価委員会事務局  
近畿農政局担当者5名
  - 4) 委員の主な意見
    - ・3haの耕作放棄された棚田を蓮畑に再生されているが、草刈りや今後の植え替え、肥料散布をボランティアに頼るのではなく、どのような体制で行うのかなどの検討が必要。
    - ・YouTubeを作成してSNSで発信するなど、施設への来訪者が増えることで、独立採算で収支が成り立つようにすることなどの検討が必要。

2. 五個荘金堂地域歴史的資源活用まちづくり推進協議会「NIPPONIA 五個荘 近江商人の町」(滋賀県東近江市)

1) 日 時: 令和4年8月4日(木)13:40~14:50

2) 場 所: NIPPONIA 五個荘 近江商人の町

3) 出席者:

・評価委員会委員

松下秀介 京都大学大学院農学研究科教授

丸山政行 鹿児島国際大学大学院経済学研究科教授

加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師

・事業実施主体

五個荘金堂地域歴史的資源活用まちづくり推進協議会 担当者(事務局等)

・評価委員会事務局

近畿農政局担当者5名

4) 委員の主な意見

・宿泊施設を運営する指定管理法人(中核法人)が、地域の幅広い関係者と連携・協力しながら、体験コンテンツや食事メニューを充実させ、商品として販売することが必要。

・五個荘は東近江で地域ブランド力があるので、宿泊と体験プログラムをセット販売することにより、一棟貸しの宿泊施設として高水準な価格設定が可能。

○第3回評価委員会

※コロナウイルス感染防止対策のため、ウェブ会議形式により委員会を開催。

1. 日時: 令和4年9月1日(木)10:00~12:00

2. 場所: 近畿農政局第2会議室(ウェブ会議)

3. 出席者

・評価委員会委員

松下秀介 京都大学大学院農学研究科教授

丸山政行 鹿児島国際大学大学院経済学研究科教授

加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師

・評価委員会事務局

近畿農政局担当者8名

4. 議事概要

1) 第2回評価委員会(現地調査)の概要について

・第2回評価委員会(現地調査)の概要について確認。

2) 令和3年度農山漁村振興交付金の評価について

・①地域活性化対策、②農泊推進対策及び③農福連携対策に係る評価結果について意見聴取。

3)低調と評価された団体への助言・指導について

- ・昨年度に低調と評価された地域に対する重点指導結果の報告。

5. 評価委員の主な意見

○地域活性化対策(令和元年度、令和3年度採択)

- ・地域活性化対策の3地域について、「優良」(A)とする評価は妥当である。

○農泊推進対策(令和元年度、令和2年度、令和3年度採択)

- ・農泊推進対策の16地域のうち、7地域について、「優良(A)」とする評価は妥当である。
- ・農泊推進対策の16地域のうち、1地域について、「良好(B)」とする評価は妥当である。
- ・農泊推進対策の16地域のうち、4地域については、総合的評価により「良好(B)」とする評価が妥当である。
- ・農泊推進対策の16地域のうち、4地域について、「低調(C)」とする評価は妥当である。

・コロナ禍がここまで長引くとは誰も思っていなかった。GOTOトラベル実施期間以外は、新型コロナウイルス感染症の影響期間が継続している状態。宿泊業については、個人の努力では如何ともしがたい。

・地域によって目標の立て方が異なるので、目標によって評価が異なる。宿泊やインバンドに力を入れたところは、特に影響が大きかった。宿泊の代わりに飲食により実績を上げているような、柔軟な対応をしたことに対する評価が示せると良い。

○農福連携対策(令和元年度、令和2年度、令和3年度採択)

- ・農福連携対策の10地域のうち、6地域について、「優良(A)」、4地域について、「良好(B)」とする評価は妥当である。

○令和3年度事業の改善について

- ・地域住民の理解とか、高齢者でイベントができなかったというのが気になった。新型コロナウイルス感染症のため、来訪者に対して、高齢者が不安に思うのは仕方がないが、若い人であれば考え方が異なっていたかもしれない。補助金がなくなっても事業を継続するための体制づくり、後継者育成、次世代への引き継ぎが出来ているのかが気になった。C評価地域に対しては、農政局よりこの点についてもアドバイスをすること。

○昨年度の重点指導結果について

- ・地域活性化対策の1地区について、改善が図られたと認められる。